

e.doyu 登録強化・普及月間

企業変革支援プログラム STEP1

11月・12月

毎年秋に多くの同友会で経営研究集会（経営フォーラム）が盛んに開催されています。学びの到達点を確認しあう大切な集まりですね。しかし…そのグループ討論に耳を傾けると「経営指針の実践がなかなかできない」という声も聴こえてきます。PDCA サイクルが回っていないということでしょうか。

社内で社員たちと一緒に本質的課題を探していますか？ 同友会では仲間たちと互いの経営課題を語り合っていますか？ PDCA サイクルの C の確認です。そしてその場面に共通するものさしを準備していますか？ それがとても大切です。そのものさしが企業変革支援プログラムなのです。

さて！今年も恒例の「企業変革支援プログラム STEP1」 e.doyu 登録強化・普及月間がスタートしました。「STEP1」を大いに利用してください。そして普及させていきましょう。

同友会会員の2人に1人は持っている！ 企業変革支援プログラム STEP1 を e.doyu でさらに活用！

STEP1のデータを e.doyu に登録すると

- e.doyu に登録することで、自社のデータの経年変化をグラフで一望できます！
- 全国の会員のみなさんが登録したデータと自社のデータを対比することができます。
- 登録されたデータは、同友会の活動や、経営環境を改善する政策活動などにも生かされます。
- 「〇〇年」登録をすることで、全国の優れた実践事例を閲覧することができます。(1年間)



3ステップでかんたん登録

STEP1の回答データを e.doyu に登録しましょう。

- 1 自社のデータを入力する。
- 2 診断プログラムに回答する。
- 3 すべての回答が終わったら「下書き保存をする」「本登録する」「〇〇年の回答として登録する」のいずれかを選択する。

※「下書き保存をする」を選択した場合や全問に回答されていない場合は、グラフ化できません。
※「本登録する」「〇〇年の回答として登録する」を選択した場合に、全国集計に反映されます。全国集計に反映されるその期のデータは、「〇〇年の回答として登録する」のデータがない場合は、「本登録する」を選んだデータとなります。

自社の STEP1 のデータを e.doyu に登録することで、自社の立ち位置を登録企業の中で客観的に確認できるようになり、経営課題を浮き彫りにして経営戦略を強化し、実践を進めることができます。

STEP1とは？

STEP1 は、同友会が長年培ってきた企業づくりにかかわる見解（同友会の「3つの目的」「労使見解（中小企業における労使関係の見解）」「21世紀型中小企業づくり」など）のエッセンスを抜き出し、それらを企業変革のために必要な要素として整理分類し、企業の成長発展を図るものさしとして使えるよう、まとめ上げたものです。

セルフ・アセスメント（自己診断）という形式で、自社の経営課題を自ら明らかにすることを大事にしています。

企業として期待できる効果

- 自社の強み・弱みを知ることができる。
- 自社の次のステップを具体的なイメージで知ることができる。
- 経営者と社員が一緒に取り組むことで相互の認識の差が具体的にわかる。
- 社員間の認識のズレを次のステップを確認しあうことで修正できる。など